

令和6年度しまね社会貢献基金クラウドファンディング事業報告シート

団体名	NPO法人松江サードプレイス研究会ノヴィープロジェクト
事業名	「ホリー」が紡ぐ縁〜チェコと日本の国際交流
事業費(うち支援額)	1, 283, 150円(433, 000円)



ホリー先生の地元演奏家熱血指導



和やかに、賑やかに地域交流会



後藤さん&ホリー先生の熱演

■事業目的(250文字以内)

チェコの1915年製グランドピアノ「ホリー」の修復に伴い、チェコから元所有者のウラディミール・ホリー先生(国立ヤナーチェク音楽芸術アカデミー准教授)と日本人ヴァイオリニスト後藤博亮氏をお招きし、地元奏者の指導及び演奏会や地域の方との交流会を行い、チェコと日本の交流を深めた。

■事業内容(350文字以内)

- ①記念式典及び演奏……11/9(土)玉湯公民館
 (前半)チェコセンター東京、松江市、同教委からのご臨席をいただき、お披露目式典、「ホリー」の歌の発表を行った
 (後半)地元演奏家5名がホリー先生の指導を受けた成果を披露した
- ②記念演奏会…11/10(日)玉湯公民館(約90分)
 後藤博亮氏(ヴァイオリン)とホリー先生(ピアノ)によるオール・チェコプログラムでの演奏会
- ③地域交流……11/7(木)旧大谷小学校講堂(約90分)
 大谷地区住民20名とノヴィープロジェクト10名が参加
 ホリー先生や後藤さんからチェコのお話を聞き交流、同時に演奏もしていただいた

■事業成果と今後の展望(450文字以内)

地域交流会ではホリー先生が、「この響きの良い旧大谷小学校講堂で、私が持っていたチェコの古いピアノが活かされるならばとても嬉しい。地域の宝物にしてください」とのお話があり、地元の皆さんと和やかな交流が行われた。また、後藤さんとの演奏会では、チェコ音楽年を記念してオール・チェコプログラムの演奏を来場者が楽しんだ。

最後に、「ホリー」の譜面台だった板にノヴィープロジェクトメンバーがウッドバーニングにより作成した「チェコと日本の交流図」(右)が記念品として贈呈され、先生が大感激された。



その後もホリー先生とノヴィープロジェクトメンバー、指導を受けた地元演奏家とはメールでの交流が続いており、これを機会に更なる交流を展開したい。